

就業力育成支援事業 第2回近畿地域会議

2012年2月16日実施

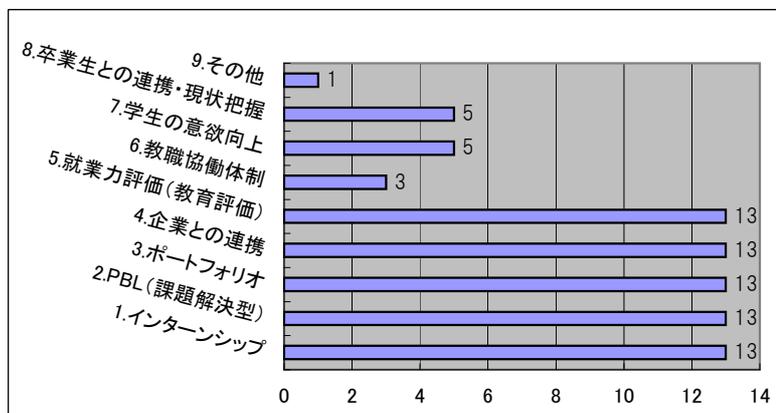
回答者数24名

■ 参加選定校による取組状況報告、コメントシート(相互評価)の導入について、ご意見、ご感想を自由に記入してください。

- 短時間の説明でしたので、十分に理解していただけなかった部分もあると思いますが、やはりご意見は大切だと思いました。
- 短時間で皆様のコメントを集約でき、大変効率的と感じました。
- 良かったが、もう少し具体的な話が必要。
- 同様の取組校から意見をいただけることは貴重な機会と感じます。
- フィードバックをありがとうございます。
- 他大学かたの評価、コメントを得られて良かった。次回以降、情報交換を越える取組(課題に対する協議、共通の課題の設定等)に期待。
- 各大学素晴らしい取組をされていると思いますが、取組状況を5分という短い時間で判断するのは困難である。プレゼン力で評価するしかない。
- 他大学の取組を拝見して、大いに参考になりました。
- 無記名で客観的に評価頂けたので、大変参考になりました。ありがとうございました。
- 自分たちの取組を相対化する意味で役に立った。
- 各大学の取組を聞くことにより、共通する部分、取り入れられる部分など、考えることができた。コメントシートはもう少し記入の時間があれば良かったかも。
- 相互評価を行い、各大学の取組を理解し、成果と課題を共有することはとても良いことだと考える。できれば、発表の後に講評を互いに行える時間がもう少しあればいいと思う。
- 各大学の取組や内容を知ることができて良かった。また、自大学の評価を知ることができ、非常に良い機会になった。
- 各大学の取組がよく理解できました。
- 参考にすることばかりでした。
- 大学間の連携を考えると、コメントシートは必要であったと思う。
- 重点事業シートの活用をしたい。
- 他大学の取組は非常に参考になりました。

■ 今後、小規模なグループで取り上げて、情報交換等を行いたいテーマはありますか(複数回答可)。

1.インターンシップ	2.PBL(課題解決型)	3.ポートフォリオ	4.企業との連携	5.就業力評価(教育評価)	6.教職協働体制	7.学生の意欲向上	8.卒業生との連携・現状把握	9.その他	0.未回答	有効回答
13	13	13	13	13	3	5	5	1	1	23



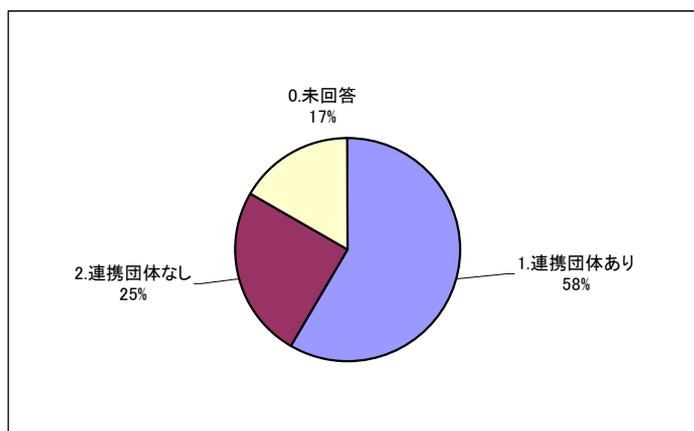
その他の記述

・実践的な取組場所について

- ・ 仮幹事校としてご苦労ですが、もう1段上のアンケート、情報交換の音頭取りをお願い申し上げます。
- ・ お話にもありましたように、取組項目毎に各大学の課題を持ちより、議論できればと思います。
- ・ 積極的で前向きな大学の方とは大いに情報交換を行っていきたいと思います。

■ 現在の取組において、連携している学外の経済団体等がありますか(新事業に向けて)。

1.連携団体あり	2.連携団体なし	0.未回答	合計
14	6	4	24



- ・ 正式ではありませんが、滋賀経済同友会には相談にのっていただいております。
- ・ 商工会議所。
- ・ 長浜商工会議所
- ・ JETRO、JTB、KNT、日中経済貿易センター
- ・ 亀岡商工会議所
- ・ 亀岡商工会議所(具体的な内容は今後の課題です。)
- ・ JTB西日本、福祉協議会等
- ・ 社会福祉協議会等
- ・ 滋賀県中小企業家同友会
- ・ 滋賀県中小企業家同友会
- ・ 奈良商工会議所等
- ・ 奈良労働局、奈良県立経営者協会、天理市
- ・ 奈良県中小企業同友会、奈良県中小企業センター

■ 新事業の申請に向けて、ご意見、ご感想を自由に記入してください。

- 新事業の大変さを実感しています。
- 新プログラムは現実的に困難。取組の質向上に対する連携が望ましい。
- 事業継続のため、何としても採択を目指したい。
- 新事業に向けて、大学連携を進めていくことの必要性は理解できるが、申請内容が見えないので、何とも言えない。
- 公募内容にもよりますが、現時点では新事業にも大学としてトライしていく方向です。
- 本学は、今まで取り組んできた「就業力育成プログラム」を基礎として新規事業に向けて積極的に取り組んでいく方針です。もちろん、公募要領の内容によっては残念ながら参加できない場合もあるかもしれませんが、それはやむを得ないと考えています。自大学の思惑ばかり考える姿勢には問題があると考えています。
- 要項が出た時点において、各大学が求める取組みが行えるが、判断した後に協議していければと考えます。
- サブグループはできるだけ早く決定してほしいと思います。中漬作業のスケジュールがタイトになると思われますので、幹事校で案を作成していただいてはどうでしょうか。
- イメージがまだつかず、具体的にどうするのか、悩むところです。議論しながらやっていくしかないのだと考えます。
- せっかくの機会ですので、新しい取組を少しでも作っていければと思いました。
- 事業の方向性を早急に明確してもらい、申請の可否を含め、本格的な議論をしたい。
- 出来る限りこれまでの取組内容を活かしつつ実施できる内容にすべきである。グループ化は要格付すべきである。
- サブグループには事前に大学からお声がけいただけないなくとも、公平に入れる(入りたいと手をあげる)機会をいただきたいです。
- グループ作りについて、3月上旬に集まれたらと思います。
- 要項次第。
- 時間に限りがあるので、対応を早く。
- 現在のところ、ニュートラルな考えです。
- ぜひ申請し、就業力事業を完成させたい。
- グループの中でさらに就業力の充実を図りたいと思います。

■ 本日のプログラム全体を通してご意見、ご感想を自由に記入してください。

- 議論はあまり進みませんでしたが、意見交換は重要だと思います。
- 幹事校のご苦勞は大変であると思う。
- 無理にまとめず、この程度でコンセンサスを得たことは良かったと思いました。
- お世話になりました。
- ありがとうございます。
- 本日は会場設定、準備、案内等お世話になり、ありがとうございます。本学は幹事校には人員的にも、また実力的にも難しいですが、サポートはさせていただきたいと思います。今後とも宜しくお願いします。
- 龍谷大学は何を持ち帰るのか、よくわかりません。新規事業の参加の有無について持ち帰るのか、幹事校を立候補することを持ち帰るのか？幹事校はとても大変な役目を担うこととなります。各大学が幹事校を引き受けても良いか否かの表明をされても良いのではないのでしょうか。本学は幹事校は荷が重いですが、その他のグループ運営や資料作成などには積極的に協力させていただきます。
- 幹事校としていろいろとありがとうございました。
- 公募要領が発表されていない中での議論であり、中身(焦点)が少しぼやけていた。ただ、議論を通じて、問題点は若干明確にかつたように思う。
- 取りまとめ、本当に大変なところ、ありがとうございます。これからも宜しくお願いいたします。
- たたき台をもとに、具体的な議論にしていきたい。
- 多くの意見があり、まとまることの難しさを感じました。お世話ありがとうございました。